

接続料等と利用者料金の関係の検証結果（2023年3月31日）

検証品目	検証に用いた接続料等※1	検証結果※2
LINEMOミニプラン	- データ伝送役務に係る接続料相当額 - 音声伝送役務に係る接続料相当額 - 国際ローミングに係る費用 - インターネット接続サービスに係る費用 - P-GWに係る費用 - 他事業者との接続に際して支払う費用	○

<算定方法>

利用者料金		2022年度（第3四半期まで）の平均利用者料金を使用
設備等費用	データ接続料相当額	接続料単価：MVNOから本件検証の要望があった時点で適用している予測接続料（188,327円/10Mbps [2022年2月届出]）を使用 平均使用通信量：2022年度（第3四半期まで）の平均使用通信量を使用 設備容量の上限値の考え方：2021年度の実績を使用（いずれのブランドも共通）
	音声接続料相当額	①基本料※3 MVNOから本件検証の要望があった時点で適用している00XY自動付与機能接続料を使用 ②通話料 接続料単価：MVNOから本件検証の要望があった時点で適用している通話モード接続料（0.051473円/秒[2022年3月届出]）を使用 平均通話時間：2022年度（第3四半期まで）の平均通話時間を使用
	その他費用	2021年度の実績を使用
営業費相当額		接続会計に基づく移動通信役務の営業収益に対する営業費用の割合の直近5年平均（2017年度～2021年度）を使用。 なお、検証対象サービス等の提供に際して発生し得ない営業費は算定から除外。

※1 検証に用いた具体的な値は当社のサービス戦略に係る経営情報であるため非公表とする。
※2 検証対象サービス等の利用者料金による当社の収入と当該サービス等の提供に必要な設備等費用の差分が営業費相当額を下回らない場合に、検証結果を“○”とする。
※3 契約者の過半数が接続を利用しているため、届出接続料の基本料を使用/緊急通報の卸料金を含む